

冬眠

じつは、こうした動物の多くは、土の中や木のあななどで、じつと冬をこしています。これを、冬眠とうみんといいます。シマリスやコウモリなども、冬眠とうみんをします。

冬は寒く、食べ物もほとんど見つかりません。動物が体温をたもったり、動き回ったりするには、たくさんエネルギーが必要です。そこで、動物たちは、体温を下げたり、息をする回数をへらしたりして、エネルギーをできるだけ使わないようにしているのです。

カエルやヘビは、まわりの温度とともに体温が下がり、ほとんど動かなくなりま
す。クマは、秋のうちにたくさん食べて体に脂肪をたくわえ、冬の間は、あなの中
でねむるようになってすごします。

春になってあたたかくなると、動物たちは目をさまし、また活動を始めます。

動物が、土の中などでじっと冬をこすことを、何といいますか

2 動物たちが冬眠とうみんをするのは、どうしてですか。

--	--

3 冬眠中の動物の様子に合うものはどれですか。

ア 体温を上げて、よく動く。

イ 体温を下げ、息をする回数をへらす。

ウ 食べ物をたくさん食べる。

4 クマは、秋のうちに体に何をたくわえますか。
